

8月21日は献血(けんけつ)の日

「輸血」に必要な
「献血」について考えてみよう!

献血(けんけつ)を知っていますか?

献血とは、**病気やけが**で輸血(=血液成分の不足を他者からの血液によって補う治療法)を必要としている人のために、自発的に無償で血液を提供することです。

約8割の人が病気で
輸血が必要

なぜ献血は必要なの?

血液の病気(白血病、悪性リンパ腫など)の治療
重度の貧血、外傷や手術による出血
がん治療に伴って骨髄がダメージを受けた場合 など

血液は酸素や栄養の運搬、免疫など人間の生命を維持するために必要な多くの機能があります。
現在、血液機能の代わりが完璧にできる人工血液は存在しないため、医療において輸血は欠かすことができない治療法となっています。

みなさんの献血によって必要な血液を確保し続けなければ、現代医療は成り立たないのです。

誰でもできるの?

献血基準(表)に当てはまる場合に献血が出来ます。

ただし、歯科治療後や海外に一定期間行っていた場合など献血ができない場合もあります。

基準を満たせば
高校生からできます!

全血献血

(200、400ml 献血)
血液中全ての成分
を採血する方法。

		200ml 献血	400ml 献血	成分献血
年齢	男	16歳から	17歳から	18歳から
	女		18歳から	
体重	男	45kg以上	50kg以上	45kg以上
	女	40kg以上		40kg以上

成分輸血

血小板や血漿だけを採血
する方法。赤血球は再び体
内に戻します。

血液の成分

白血球: 病原体やウイルスなど、身体に進入してくる異物を取り込んで消化する(不足すると抵抗力が下がる など)

赤血球: 赤血球成分の中心はヘモグロビン、血液中の酸素を体内で運ぶ(不足すると貧血 など)

血小板: 出血を止めてくれる(不足すると出血傾向 など)

血漿(けっしょう): ①栄養成分を体内の各組織へ運び、そこで生じた代謝老廃物を腎臓から排出する

②赤血球や血小板と協力して、出血を止めてくれる

③様々な抗体が含まれ、病原体の排除に重要な働きがある

(血液から作る薬の原料にもなる=難病の治療にも有効)

献血は命をつなぐボランティア

日本国内には、輸血を必要とする人が年間約100万人いると言われています。病気やけがで輸血が必要になってしまうことは、皆さんが思っている以上に身近に起こることです。輸血によって命をつなぐ人がいます。輸血によって笑顔を取り戻す人がいます。病気やけがと闘う人たちを救えるのは、献血ができる健康な皆さんだけなのです。

高校生の皆さんも命を救うボランティアができます。ご協力をお願いします。